

ボランティア情報誌 ら・ぼ・ら

令和 3年 1月号

発行 社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会

編集 あやせボランティアセンター

綾瀬市深谷中4-7-10 保健福祉プラザ

電話 70-3210 FAX 79-1812

☆「らぼら」とは、ラボ(研究所)とボラ(ボランティア)をつなげた造語です。

コロナ禍においても、学校では感染症対策を講じた上で福祉教室を開催しました。今回は、その体験の一部を紹介させていただきます。※ R3.1 緊急事態宣言以降は、全て中止

～小学校1年生 手話体験の様子～

講師：ほほ笑いサークル

内容：まず初めに、手話を使った元気なあいさつから始めました。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「いただきます」など、いくつものあいさつを学び、繰り返すことで上手に行うことができました。次に、事前に配布されていた資料をもとに何回も自己紹介の練習をしました。発表の時間には積極的に手を挙げ、チャレンジしている子供たちの姿が印象的でした。

最後には、みんなで曲に合わせて手話に触れました。講師の見本に合わせて一緒に手話を楽しんでいました。



～小学校2年生 手話体験の様子～

講師：綾瀬市聴覚障害者協会・手話サークルあやの会

内容：まず初めに、見た目だけではわかりにくい聴覚障がいについて問題形式で分かりやすい説明がありました。その後、手話を使った「もも太郎」のミニ劇や聴覚障がい者の様々なコミュニケーション方法、生活の工夫、ゲームなどの体験を通じ楽しく手話について学ぶことができました。

最後には、講師から子ども達に対して自分でもできること、助ける方法について投げかけがあり、子ども達からはたくさんの質問も挙がっていました。



～小学校3年生 サウンドテーブルテニス(STT)体験の様子～

講師：綾瀬市身体障害者福祉協会視覚部会

内容：視覚障がい者から体験についての説明があり、その後デモンストレーションがありました。子供たちは1組ずつアイマスク着用し、体験中は音を頼りに体験するため静かな環境で行っていました。また、当事者との対戦の時間もあり、最後は質疑応答の時間が設けられました。

講話やSTT体験を通じて、障がいについての理解を深めるとともに、日常生活についての話も伺いました。



コロナ禍におけるボランティア活動の紹介



令和2年12月16日から12月20日まで、市役所において、綾瀬市特別支援学級作品展「ふれあいのびのび作品展」が開催されました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中ではありますが、開催期間中は午前と午後に分かれてそれぞれ1名ずつ受付のボランティアにご協力いただきました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

雑巾寄付状況について



「午後はみんなのサロン」の開催が中止になる中で、ボランティアさんに御自宅で縫っていただいた雑巾を市内福祉施設等や保育園に寄付させていただいております。令和2年12月には3施設に雑巾をお届けしました。

大上保育園 様

ファミリーキッズ綾瀬 様

のびの木 綾瀬こそ の 様



事業の中止について



○「午後はみんなのサロン」 2月17日(水)・3月17日(水)は中止とさせていただきます。4月以降の予定につきましては、改めてお知らせいたします。

あやせボランティアセンター

TEL 70-3210 Fax 79-1812

MAIL ayase-vc@ayase-shakyo.or.jp